

福岡俘虜収容所について

ミヒエル, ヴォルフガング
九州大学大学院言語文化研究院

<https://hdl.handle.net/2324/2228578>

出版情報 : 2008-10-13
バージョン :
権利関係 :



「福岡俘虜収容所について」
On the WWI German POW Camp in Fukuoka

W・ミヒエル
九州大学大学院言語文化研究院

岡山大学 2008年一般公開国際シンポジウム
「日独文化交流史上の在日ドイツ兵俘虜とその収容所」
2008年10月13日
岡山大学創立50周年記念館

資料について

- ◆ 福岡市役所編『福岡市史』福岡、福岡市役所、1958～(第2巻:2大正編資料集)
- ◆ 「俘虜二関スル書 自大正三年至大正九年」所収 (一、福岡其他俘虜收容所俘虜收容の件。一四、俘虜職業調査中異動の件。一八、福岡ニ於ケル逃走未遂俘虜処罰ニ関スル件。(防衛庁防衛研究所図書館所蔵)
- ◆ 地図資料編纂会編『明治大正日本都市地図集成』東京、柏書房、1986年。
- ◆ 伊東博士作品集刊行会編「伊東忠太建築作品」東京、城南書院、1941年。
- ◆ 俘虜情報局編「大正三四年戦役俘虜写真帖」(鳴門市、ドイツ館蔵)。
- ◆ Von Saldernの遺品(久留米市文化財保護課蔵)
- ◆ 「福岡日々新聞」 大正3年～7年(=福日) 約300記事



「福岡日々新聞」 大正5年9月2日:「**俘虜情報局焼失** 出火の原因に怪しき点あり ▲焼失せる重要書類 白石福岡收容所長の談 ▲各收容所に影響」

(9月1日午前1時、陸軍省本館階上の俘虜情報局より発火。俘虜の留置、移動、宣誓、解放、交換、逃走、入院及び死亡に関する情報。俘虜の遺留品及び遺言書。)

明治・大正期の福岡とドイツ

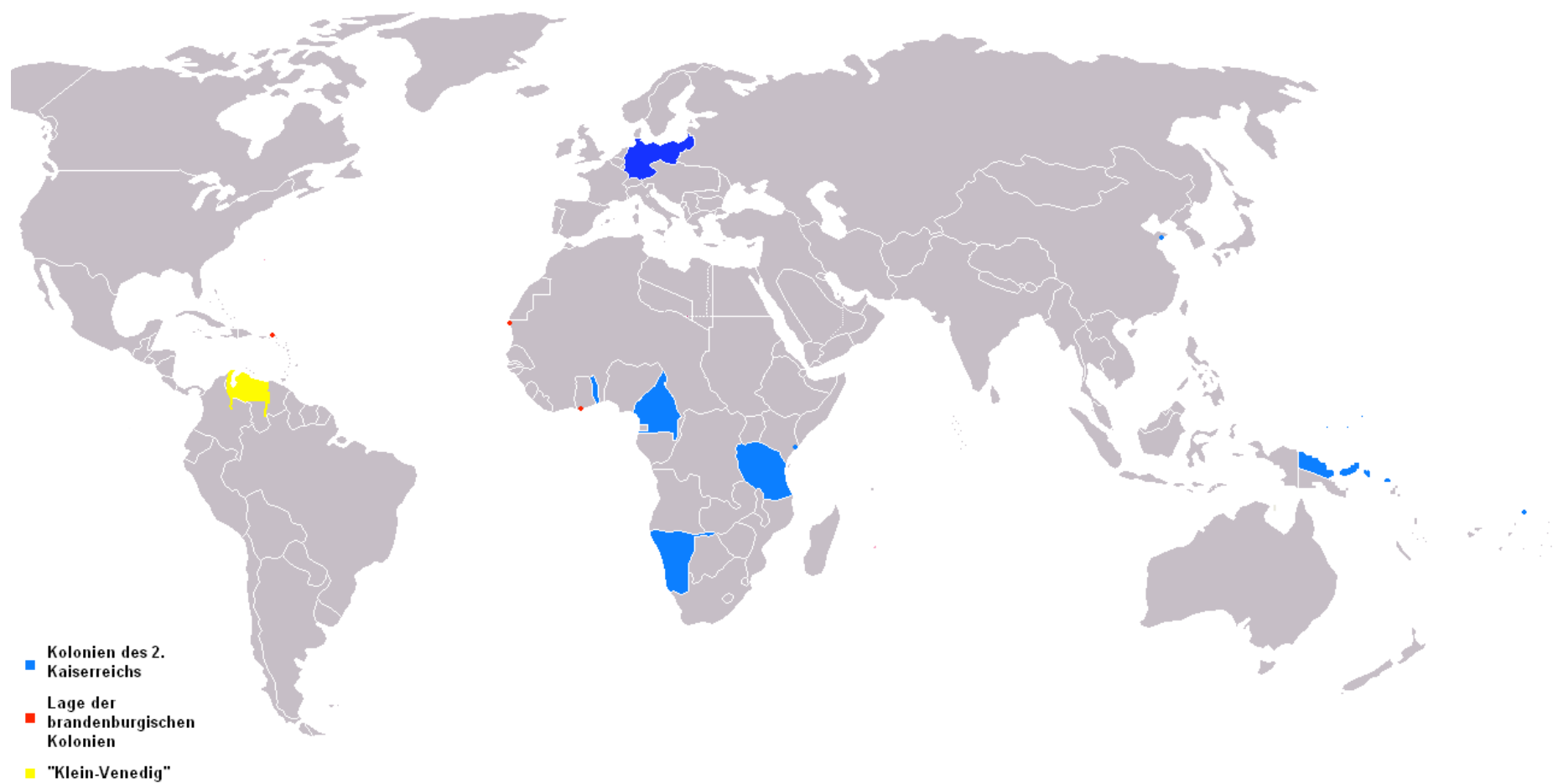
- ◆ 八幡製鉄所でのドイツ人の貢献
- ◆ ドイツ人技師ヘルマン・ルムシュッテル (Hermann Rumschoettel, 1846-1918)。1886(明治19)年11月に来日。九州鉄道の建設を指導し経営上でも助言を与えた。
- ◆ 1903 京都帝国大学福岡医科大学, 同附属医院 設置 (ドイツ医学を重視)
- ◆ 1911 京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる。
九州帝国大学工科大学 開設
- ◆ 1914 医科大学が医学部に, 工科大学が工学部となる。



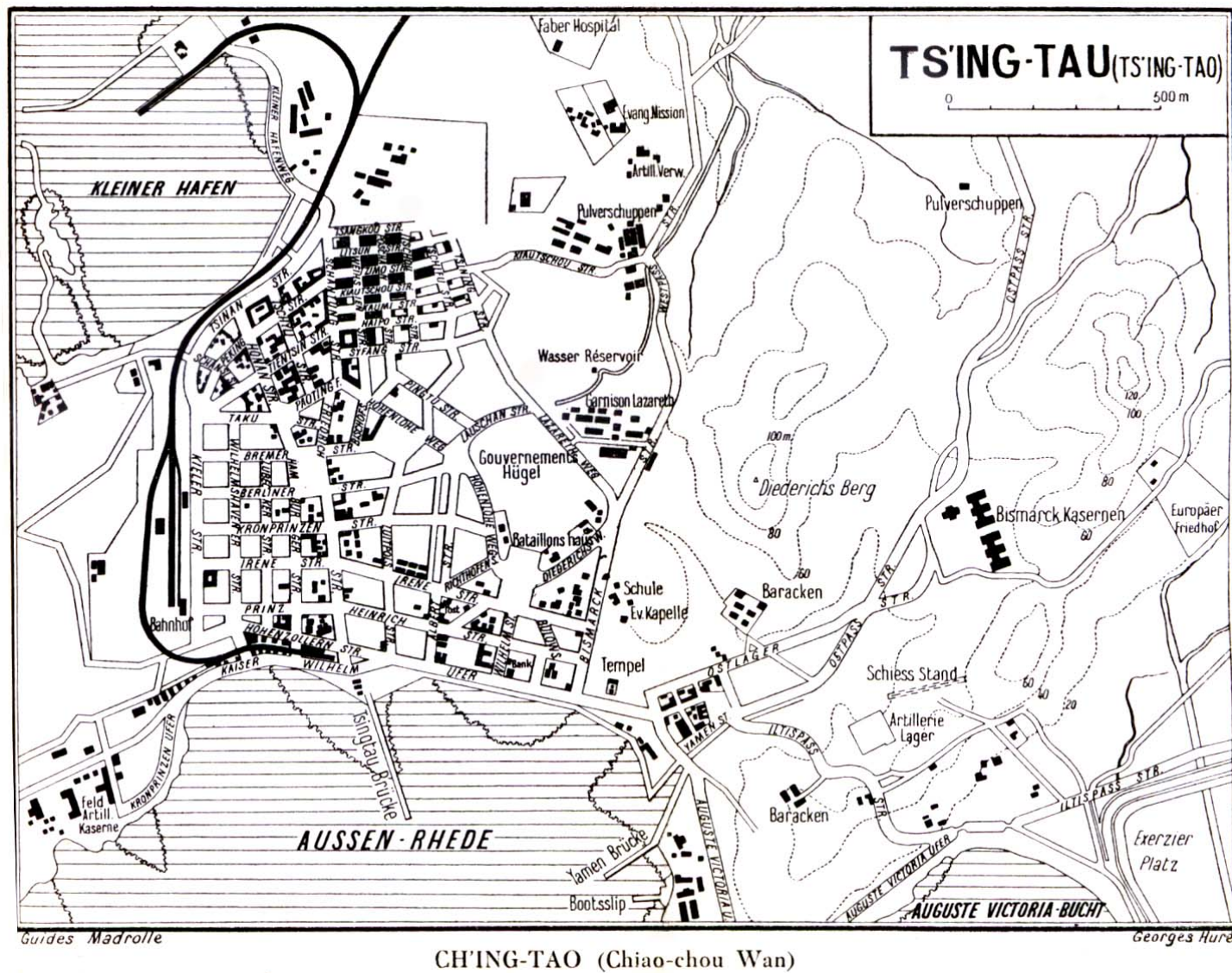
ルムシュッテル



京都帝国大学福岡医科大学の正門



青島(チンタオ)



1898年ドイツが租借し、湾口の青島を東洋艦隊の根拠地とした。

膠州湾と青島

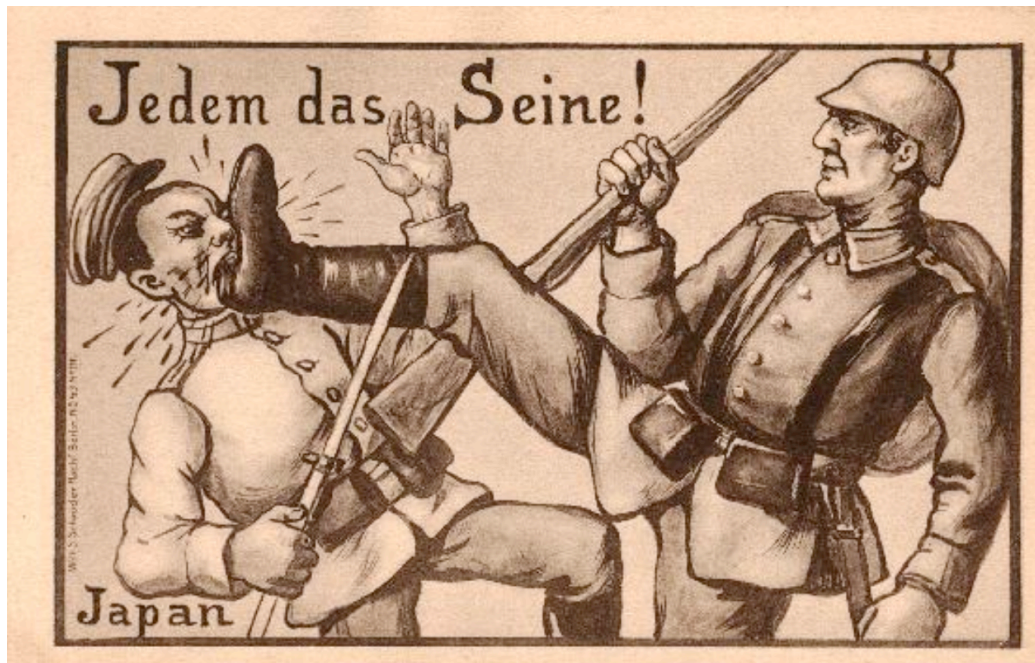




Fang-dsu Station, Shantung Railway.







各自に各自のものを

Suum cuique

KZ Buchenwald



Schlacht bei Liegnitz (1241)





A stirring pictorial conception, by a well-known German illustrator, Richard Assmann, of the fall of Tsing-tau, the port of Kiao-Chau, Germany's colony in the Far East, which was captured by the allied Japanese and British forces on November 7th.



The pitiful condition of Shotanzan.

狀 慘 の 壘 堡 山 湛 小
り な 部 一 の 壘 堡 山 湛 小 る た と 壊 破 り 破 れ 難 破 る な 烈 猛 り と 面 方 翌 左 我

俘虜收容所



福岡俘虜收容所

大正3年11月11日 ~ 7年4月12日



福岡日本赤十字社支部

- ◆ マイアー＝ヴァルデック
膠州総督総督以下の幕僚(将校俘虜収容所)



鳴門市ドイツ館より

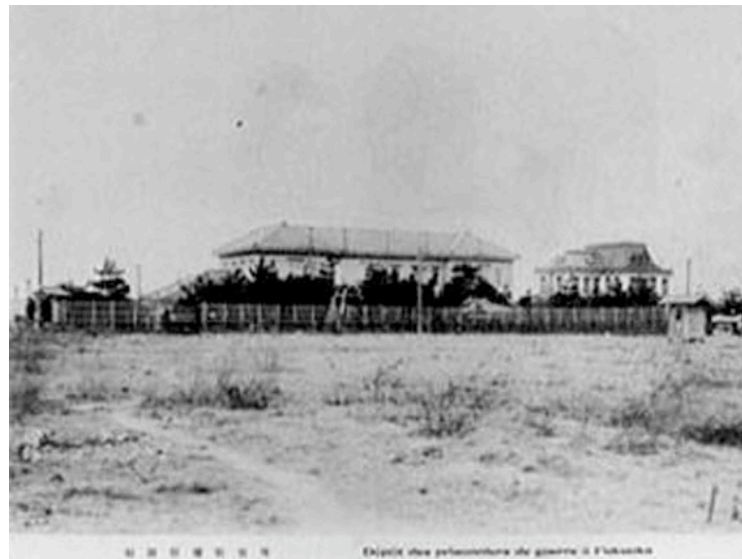


スイス国際赤十字俘虜委員会製葉書

将校俘虜收容所



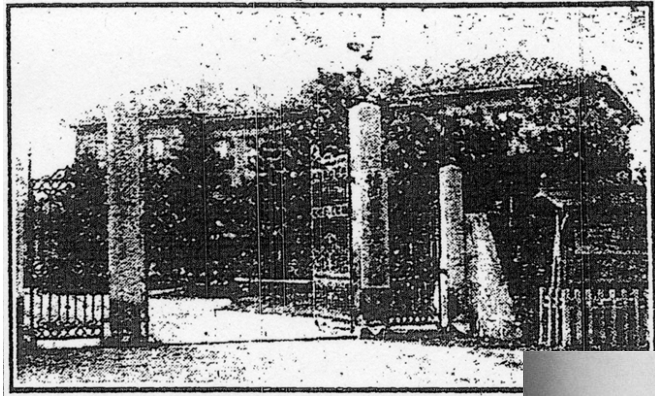
物産陳列場



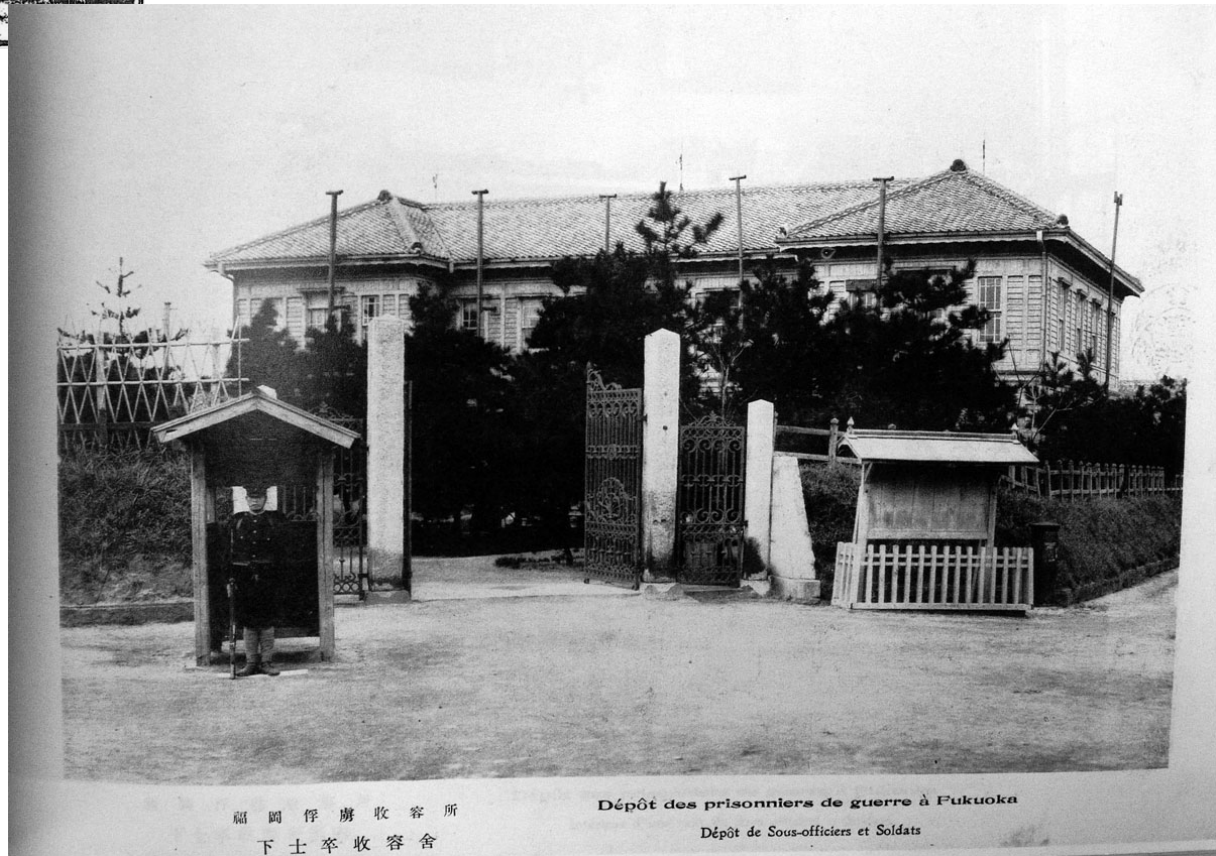
「陳列場の内部 各室の配置と取形付
独逸俘虜將校五十名從卒二十名を收容す
べき物産陳列場は目下夫々取形附中なる
が、今客室の設備を詳記せん同建物は
階上階下二部に分かれ階上は全部寢室に
て九室あり全面五室を中少尉合同寢室二
室、上長官寢室三室とし背面四室中長官
寢室二室、大尉寢室二室となし階下にあ
りては玄関左側前面に板張喫煙室、同食
堂、畳敷從卒室、叩きの手人場、同洗面所
を設備し左側背面に上長官、大尉寢室二
室畳敷從卒室、叩き洗面所及從卒寢室と
し玄関直背には上長官大尉寢室九室あり
之に附したる叩き洗面所あり玄関右側に
上長官寢室及板張の中少尉同寢室あり猶
前面の別棟を庖厨所として流し場、五層
柵等を設け背面別棟二棟を從卒室及び浴
場となす由。」

「福岡日々新聞」 (大正3年11月14日) より

物産陳列場



「福岡日々新聞」(大正3年11月15日)



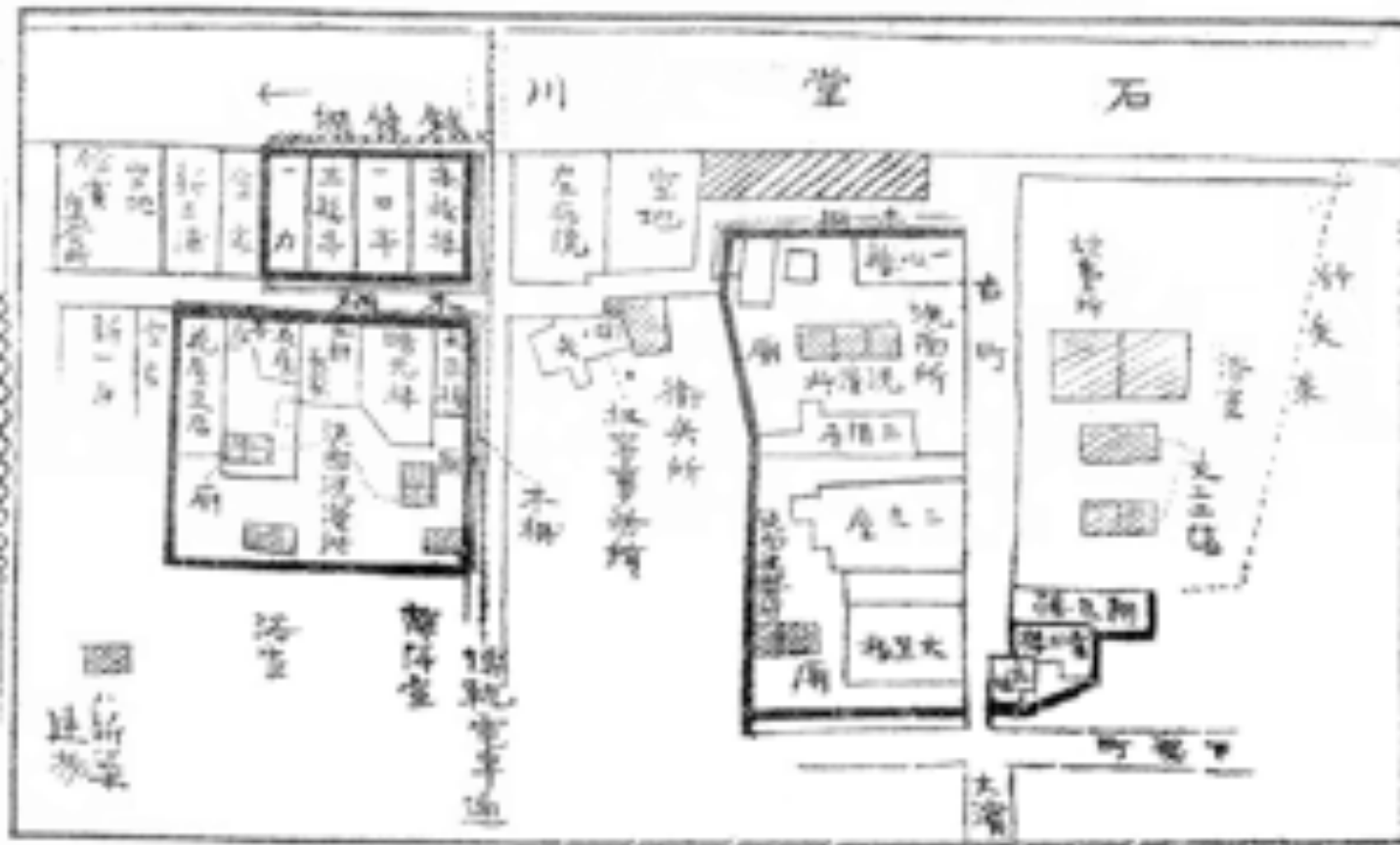
福岡俘虜收容所
下士卒收容舍

Dépôt des prisonniers de guerre à Fukuoka
Dépôt de Sous-officiers et Soldats

物産陳列場



福岡俘虜收容所
下士卒收容舍室内



(町柳南多博) 所客収房俘岡福

博多旧柳町の收容所

一般俘虜收容所(下士官・兵卒)

博多旧柳町



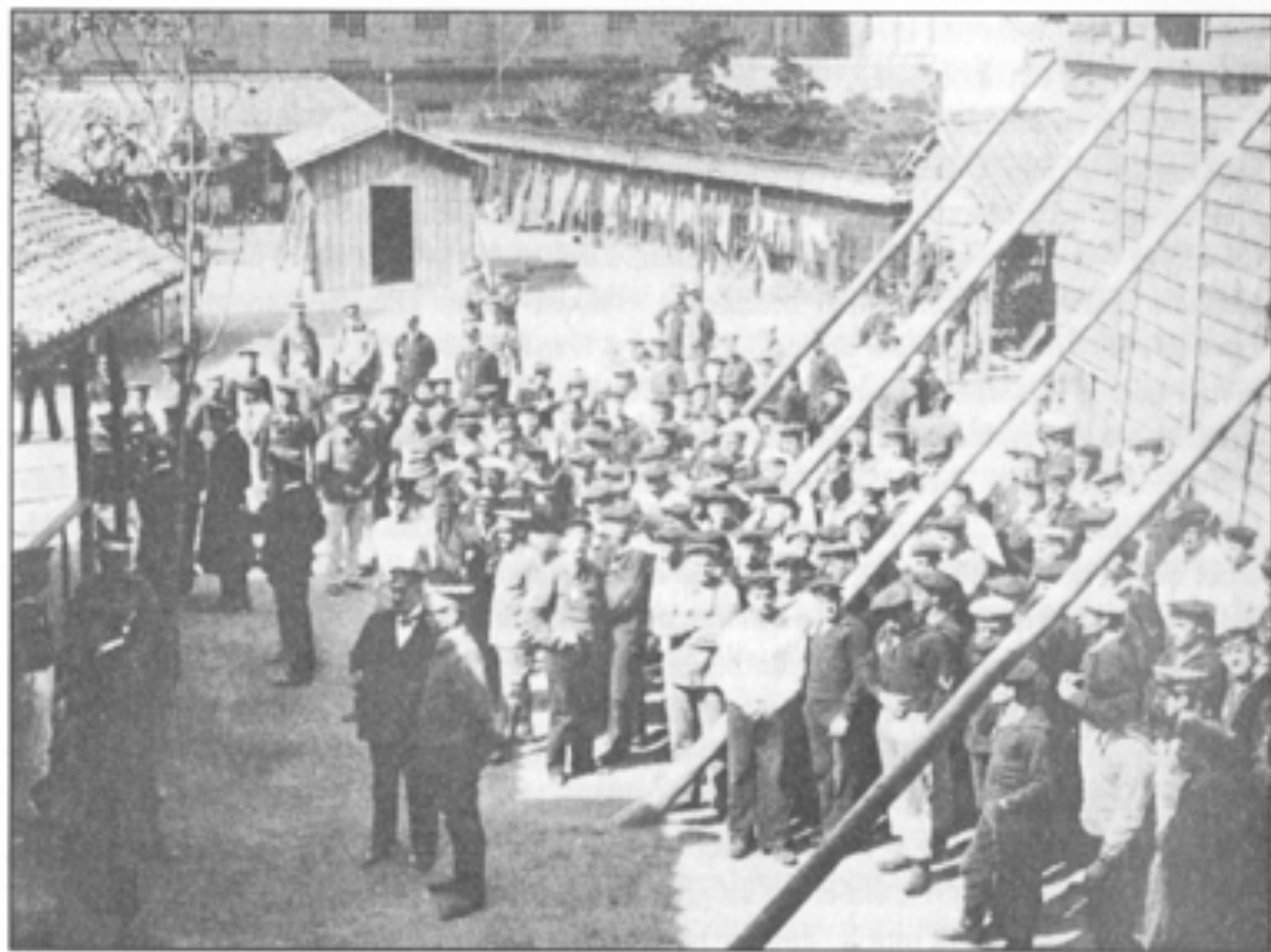


Abb. 37 Kriegsgefangene aus Tsingtau im Lager Fukuoka.

旧柳町の内部 運動場其他給水設備

「旧柳町の内部 運動場其他給水設備 福岡市の調査に依る物産陳列場及び博多旧柳町に於ける俘虜收容の予定充当間数人員は寢室間数二百九十七、居室間数六十四、寢室收容人員千六十一、居室收容人員千六十九にて、内訳七十名(将校五十兵卒二十)を物産陳列場に收容すれば旧柳町の分九百九十九名なり同所設備の詳細は別項図示の通り同所の收容所は旧貸り座敷高松楼、一日亭、三福亭、一力亭、を一括し、次に六正楼、晴元楼、五軒長家花屋本支店を一括し、古町側にては三浦屋、一心楼、三吉屋、大黒楼、朝日楼、金玉楼、玄海楼を一括し、

其境界には、竹矢来、木柵網等を以て嚴重に区制する筈なれば同町内の分は都合三箇所收容所に小別する事を得各部内に新設すべき厠、洗面所、洗濯所、浴室、離隔室、都合十二三棟に達すべし、また古町側には浴室、炊事場、大工小屋を新設し関の矢楼跡を收容所事務所、衛兵所、に当て相当の設備をなす由なり又浜部新一藤向側の空地を俘虜集合所とし器械体操其他運動場とし更に市有埋立地約二万余坪は俘虜運動場に供する由飲料水は博軌電車通より浜部の分へは遠洋漁業会社にて受け持ち直径六吋鉄管を石堂川対岸より掛渡し給水し古町側の分に博多制氷会社より直径三吋の鉄管を以て前同様設備を以て給水する筈」

「福岡日々新聞」(大正3年1月14日)より

福岡俘虜収容所長

大正3年11月11日～ 大正5年1月14日	久山又三郎	福岡歩兵第24連隊附歩兵中佐
大正5年1月14日～ 大正5年11月15日	白石通則	福岡歩兵第24連隊附歩兵大佐
大正5年11月15日～ 大正7年3月13日	江口鎮白 (やすき よ)	福岡歩兵第24連隊附歩兵中佐
大正7年3月13日～ 大正7年4月12日	星野胞治 (はらじ)	福岡歩兵第24連隊附歩兵中佐

俘虜名簿、853～1702号

「福岡日々新聞」の報道

- ◆ 3年11月28日
 - ◆ 「ワ総督の誕生祝 昨廿七日が四十九回の誕辰」、
 - ◆ 「総督夫人来らざる歟」、
 - ◆ 「将校連の階級」、
 - ◆ 「俘虜の運動遊戯 福岡旅」、
 - ◆ 「[俘虜将校は三十日より独歩外出を許可される]」、
 - ◆ 【写真「俘虜下士卒の鯉の滝登り」】、
-
- ◆ 3年12月12日「総督夫人は何時来る」
 - ◆ 3年12月13日「ワ総督夫人来らず 目下北京独逸公使館に在る」
 - ◆ 4年1月30日 「ワ総督復活を観たがる 吊柿が食べたいが歯が痛い」
 - ◆ 4年3月16日 「俘虜の今の生活 読書と語学研究」

異文化との出会い



将校の外出

「俘虜将校の買物
 (一) 莫産に餅焼網
 (二) 座布団
 (三) バゲツ
 (四) ■(?)
 (五) バゲツに鋸など」



「福岡日々新聞」
 大正3年12月5日

郵便物の交付



福岡俘虜收容所
小包郵便物ノ交付

Dépôt des prisonniers de guerre à Fukuoka
Distribution des colis postaux

将校俘虜の食事



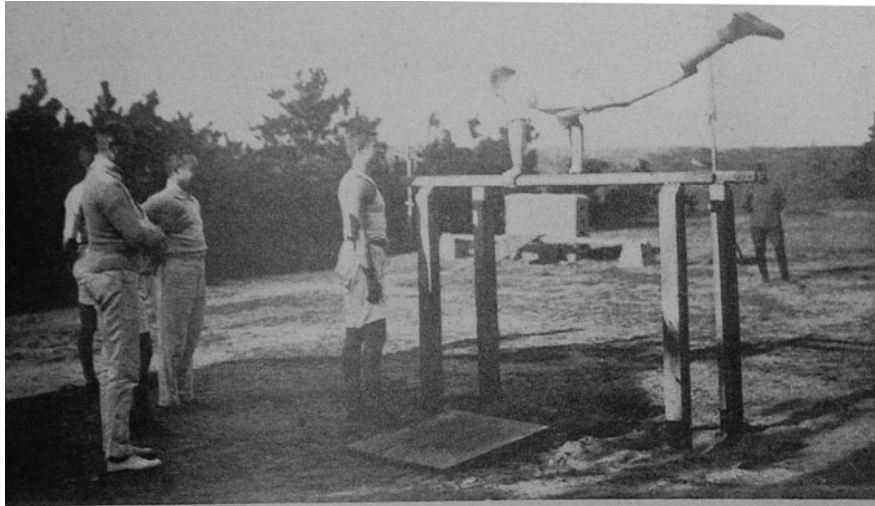
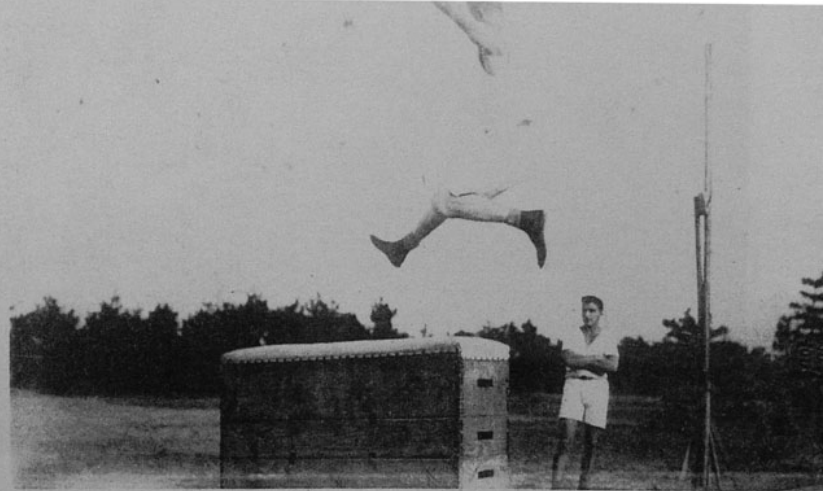
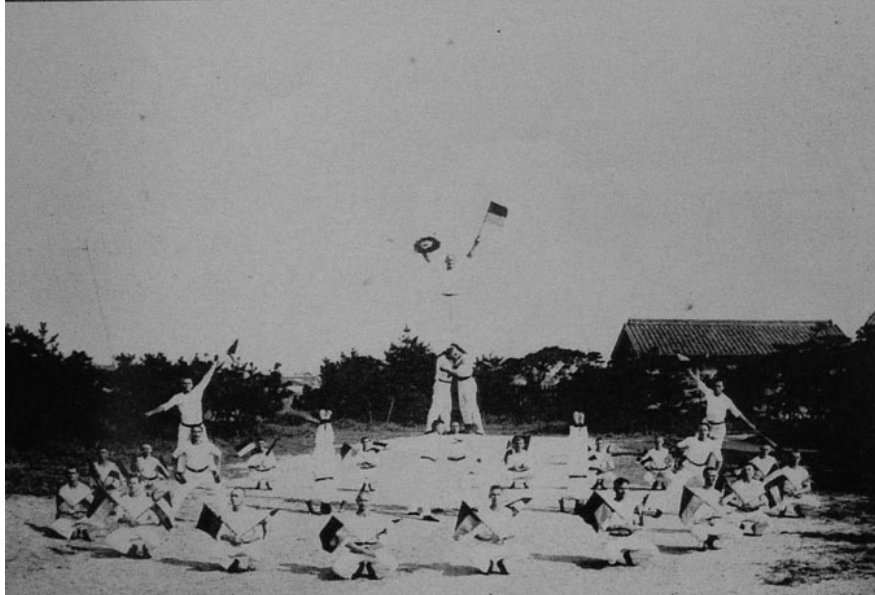
福岡俘虜收容所
食事

Dépôt des prisonniers de guerre à Fukuoka
Réfectoire



台所





娛樂 Jeux et orchestre

福岡俘虜收容所		Dépôt des prisonniers de guerre à Fukuoka.	
全景	景	Vue d'ensemble	164
俘虜全部ノ集合	全部ノ集合	Groupement de tous les prisonniers de guerre	165
將校收容舍	收容舍	Dépôt d'officiers	166
將校舍室内	室内	Intérieur d'une chambre d'officier	167
下士卒收容舍	收容舍	Dépôt de Sous-officiers et Soldats	168
下士卒收容舍内	收容舍内	Intérieur d'une salle de Sous-officiers et Soldats	169
事務室	事務室	Bureau du dépôt	170
郵便物檢閱	郵便物ノ檢閱	Censure postale	171
小包郵便物ノ交付	郵便物ノ交付	Distribution des colis postaux	172
受診	受診	Infirmierie	173
炊事	炊事	Réfectoire	174
運動	運動	Cuisine	175
娛樂	娛樂	Gymnastique	176
		Jeux et orchestre	177



マイヤー・ワルデック総督の年賀状

- ◆ 「私共一同は此の結構なる都市福岡を知り得たるのみならず、佳麗なる海上の展望と温暖なる気候とにより一同の滞在を幸福にせるを欣喜致し居候諸氏及び福岡市民の私共一同に対する友誼的心意を、新年に於ても猶改更せられざる様私共は希望致候恐惶謹言
一九一四年十二月廿七日福岡にてマイヤー・ワルデック福岡日々新聞編輯局御中」
「福岡日々新聞」、大正4年1月1日

最初の事件

- ◆ 4年1月7日 「醜俘虜の重営倉入り 深夜脱柵して人妻を襲ふ」

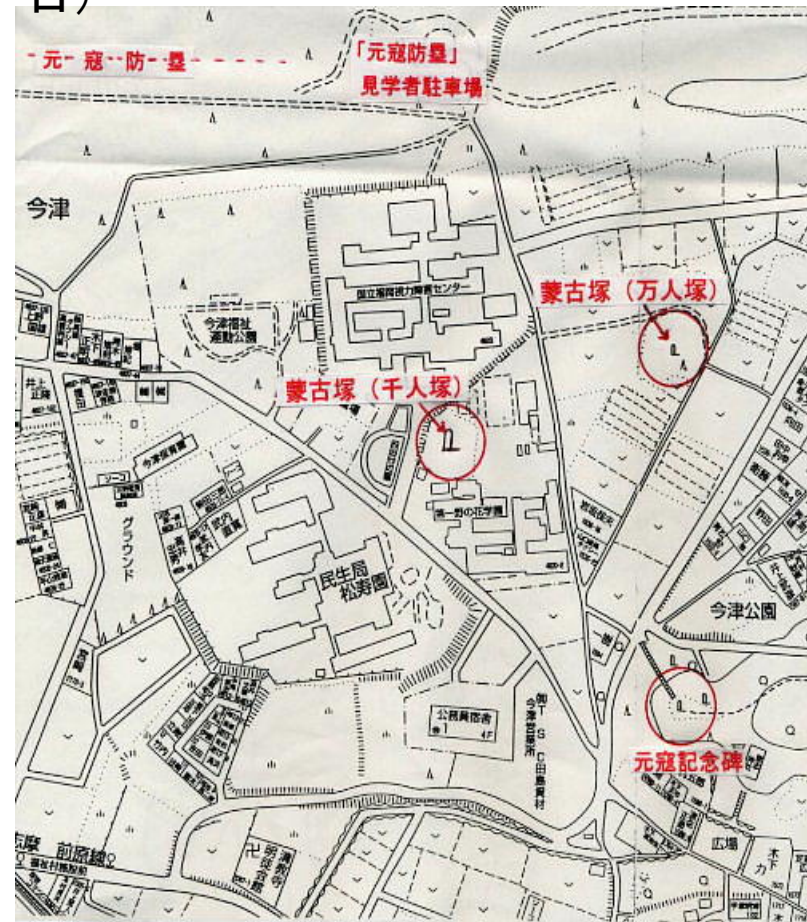


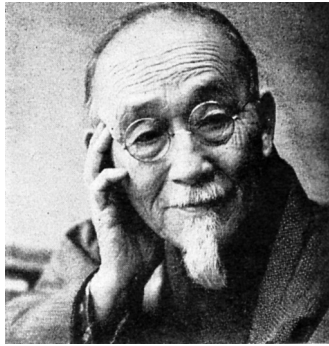
文永の役(1274年)、2度目を弘安の役(1281年)



大正4年3月、俘虜労役の許可がでた。

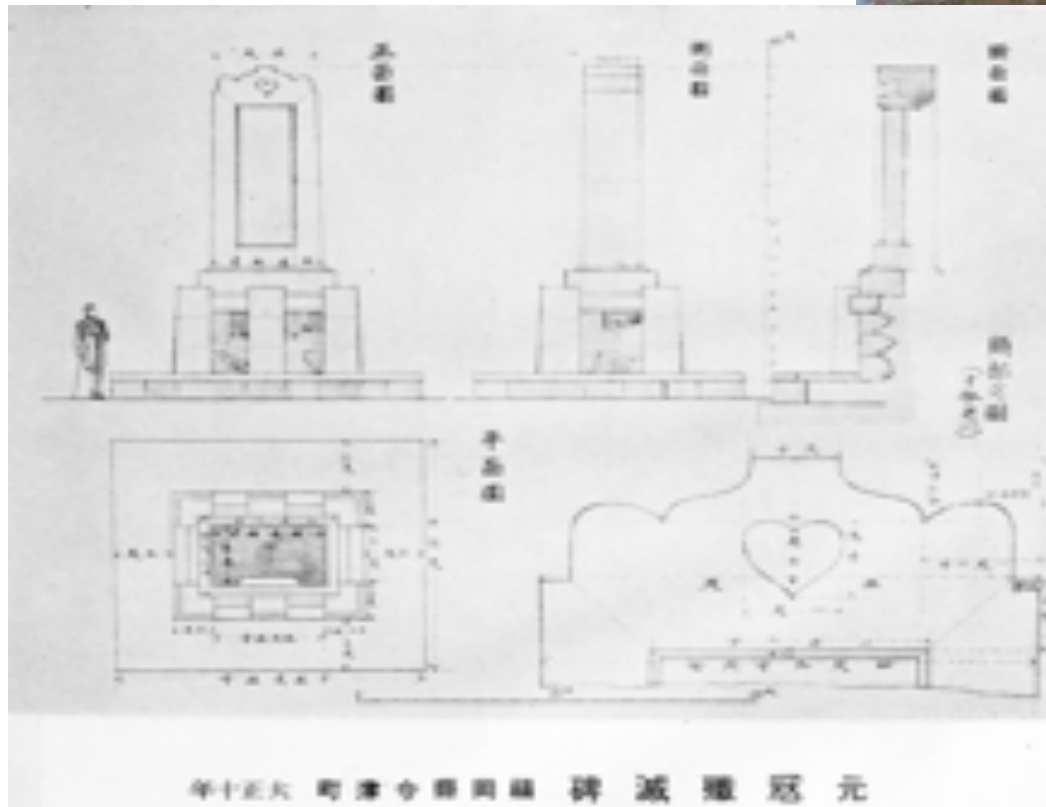
「我が国最初の俘虜労役 元寇防塁
建碑工事第一日」(大正4年4月14
日)





元寇記念碑の工事

- ◆ 建築家、建築史家伊東忠太 (1867-1954) の設計図



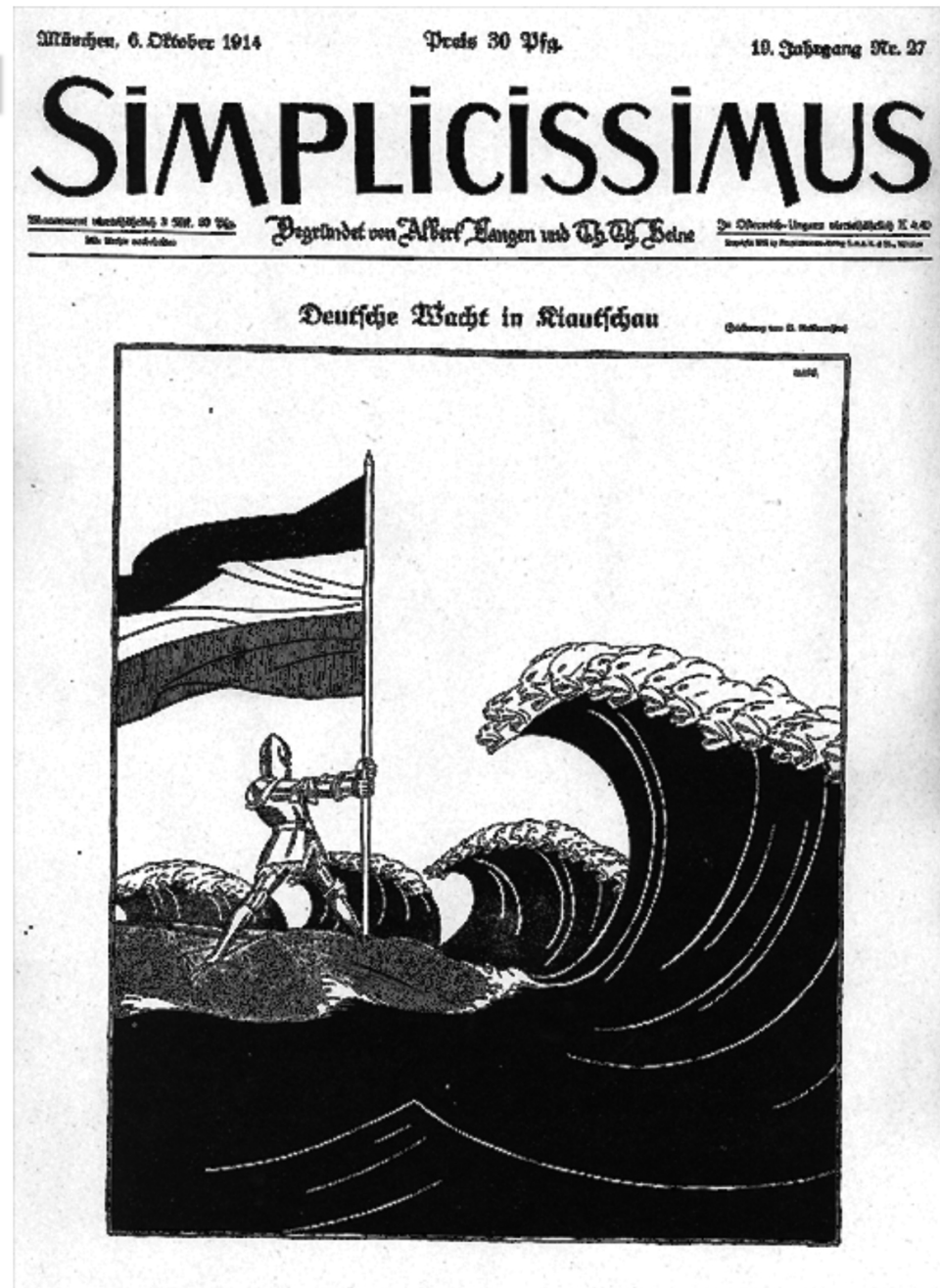
「元寇殲滅之处」

- 「元寇殲滅之处」
- 殲滅戦思想。クラウゼヴィッツ「戦争論」に遡る戦術理論。



ドイツの「蒙古襲来」

- ◆ Mongolensturm、蒙古襲来
(1241年4月5日、リーゲニッツ
の戦い。ポーランド・ドイツ騎
士軍が敗北。





「福岡日々新聞」、大正4年4月23日

元寇防塁の見学



◆今津の俘虜連（中央がワ總督）

「福岡日々新聞」大正6年6月15日

遊泳と博多山笠

- ◆ 「俘虜の遊泳始まる 本月末から須崎海岸にて」
（「福岡日々新聞」、大正4年6月16日）
- ◆ 「俘虜博士の日本語 水泳を喜ぶ俘虜将校連」（福岡日々新聞、4年7月8日）
- ◆ 「俘虜博多山笠に驚く 水泳に赴く途中の珍事」
（「福岡日々新聞」、4年7月10日）



名島への遠足



- ◆ 「福岡収容所俘虜の名嶋ゆき」（葉書、東京の株式会社タカハシスタンプ商会蔵

Karl Krügerの思い出



Abb. 36 Die Besatzung des Iltisberges stellt sich 1914 dem Fotografen zu einem Erinnerungsfoto im Kriegsgefangenenlager Fukuoka. Der Autor sitzend in der unteren Reihe, 4. von rechts.
Karl Krüger: Von Potsdam nach Tsingtau. Erinnerungen an meine Jugendjahre in Uniform 1904-1920. Herausgeber Jürgern Krüger.



◆4年6月9日

俘虜の移送

◆4年7月10日～11日

◆4年9月15日、20日、25日

◆5年10月18～20日（大演習のため）

◆7年3月22日（共進会のため）

将校の脱走(4年11月12日～20日)

- ◆ 大正天皇即位祝賀のを利用し、福岡俘虜収容所から将校5名が脱走した。
- ◆ 収容所長久山中佐は左遷され、法廷に立たされた。
- ◆ [Paul Kempe (*1884)、Herbert Straehler (*1887)、Fritz Sachsse (*1875)、Friedrich Modde (*1873)、German von Wenckstern (*1889)]

◆ 協力者: Dr. Friedrich Wilhelm Hack (28 歳)

Charles Burdick / Ursula Moessner:
The German Prisoners-of-War in
Japan, 1914-1920 (Lanham/New
York/London 1984)

◆ 脱走の理由

メディアの大騒ぎ

◆「福岡日々新聞」より

4年11月24日 「内にワ総督の密旨あり？ 外にイルマ夫人の応援あり 福岡俘虜将校の脱走大密計」、【写真:「疑問の家」←】

4年11月25日 「逃亡将校北京入る 最早疑ふ余地無し」、【写真:「引戻されたモツデ少尉(昨夜十一時博多埠頭にて)」】

4年11月27日 「神戸で消失せた二人連 後で思へば俘虜らしい」

4年11月28日 「逃走俘虜とは夢にも知らぬ 八幡丸船員齒嚙して語る」

4年11月29日 「脱走俘虜の行衛判明 残余の二人も亦支那に入る」、「長崎の独人退去命令を受く 独探行為の結果か」

4年12月5日 「逃走俘虜軍法 会議に移さる」

4年12月8日 「**俘虜收容所の大捜査** ワ総督以下将校の所持品検
閲」

4年12月9日 「**ワルデックの大皮肉** 收容所大捜査を冷笑して」

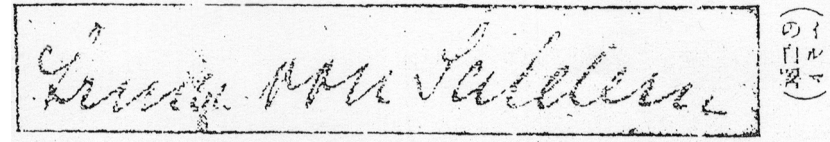
4年12月11日 「**俘虜夫人の家宅捜査**」

箱の中の子豚

◆ 「俘虜を工業に使用
せよ 内務当局より許
可通牒 ▲日給三十
銭位 ▲染色の本場
▲喜んで許可する ▲
独逸の国禁 ▲頑強の
思想を固持する際」
「福岡日々新聞」、大正 5
年12月23日

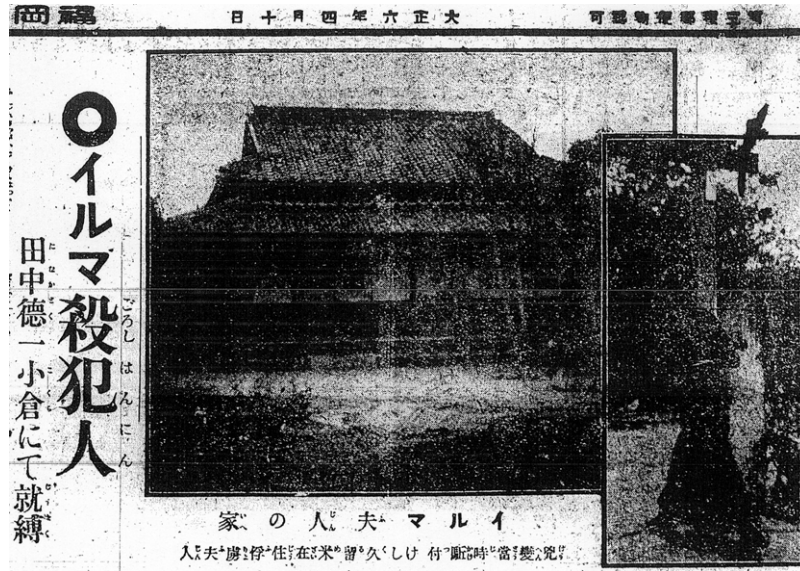
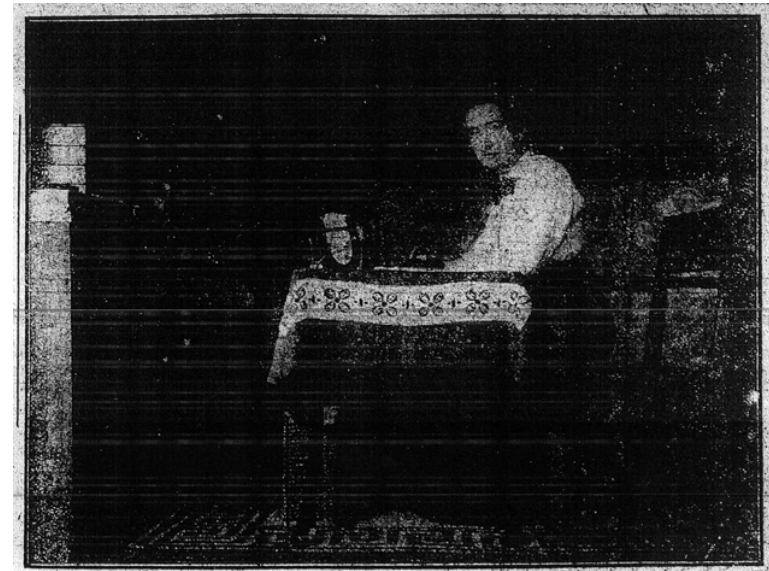
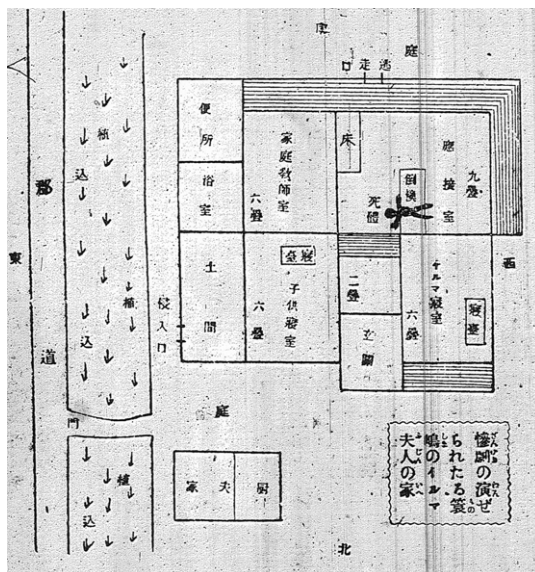
◆ 「元気横溢の俘虜
連 福岡収容所の昨今
の消息 ▲総督以下
各将校等が体育運動
に熱中 ▲収容方針は
豚の子を箱に入れて成
長せしむると同様にし
て」 「福岡日々新聞」
大正 5年12月27日

フォン・ザルデルン事件



- ◆ 大正6年2月25日：フォン・ザルデルン (Siegfried von Saldern) 大尉の妻イルマ (Irma) が、侵入した強盗に刺殺された。
- ◆ 「俘虜男爵大尉夫人兇刃に斃れ 夫大尉悲痛の極自殺す」 「福岡市外住吉町萱島土手深野別邸に居住して居る福岡收容所独逸俘虜大尉ザルデルン氏夫人イルマは二月廿五日未明寢室に於て兇賊の為に殺害され夫男爵大尉また某変を聞き悲痛の極三月一日收容所に於て自殺を遂げた大悲劇がある、本社は当時逸早く探知したが二件共其筋の記事差止め命令に接した為報道の自由を有しなかったが、今日漸く解禁されたから左に項を逐ふて詳報する事にした」
- ◆ 「福岡日々新聞」大正6年4月10日

詳細な報道





Von Saldern大尉



Kapitänleutnant von Saldern, der Schwiegersohn des Staatssekretärs des deutschen Reichsmarineamtes Admirals von Capelle, starb in japanischer Kriegsgefangenschaft. Ein tragisches Schicksal verfolgte den tapferen Seeoffizier, der an der Verteidigung von Tsingtau ruhmvollen Anteil genommen hatte. Seine Gattin, die freiwillig die Gefangenschaft mit ihm teilte, wurde kürzlich von Japanern ermordet.



海軍大将への報告

Kopfschrift
Fukuoka, den 3. März 1917.
Hochzuverehrende Herr Admiral!
Euer Exzellenz und Frau Gemahlin darf ich heute, wo ich den teuren Entschlafenen den letzten Liebesdienst erweisen durfte, meine innigste und aufrichtigste Teilnahme zu dem furchtbaren Ereignis aussprechen, das uns alle hier in dieser Woche bis in die tiefste Seele erschüttert hat. Zu meinem größten Bedauern muss ich infolge der jede kurze gebietenden Gefangenschaft auf die Ausführungen Seiner Exzellenz Meyer - Waldock mit Bezug nehmen und kann dieselben nur insoweit noch ergänzen, als persönliche Teilnahme pp. in Betracht kommt.
Nach Bekanntwerden der kaum fassbaren Nachricht versuchte ich sofort alles, um für mich die Erlaubnis zu erwirken, an die Stätte des Unglücks zur Unterstützung nachzuweichen. Etwas nach 9 Uhr traf ich ein und fand den ärmsten Mann vollständig erschmettert im Garten mit den kleinen Hüter auf und ab gehen. Es war ein erschütterndes Wiedersehen und sehr schwer, ihm einigen Trost anzusprechen. Ich konnte ihn nur in die Arme nehmen, seine Tränen flossen unentwegt. Er wusste noch nichts Bestimmtes, nur das Wenige, das der liebe, gottlob unverletzte kleine Hüter ihm mitgeteilt hatte. Aus der Anwesenheit der zahlreichen Polizei-, Kriminal- und Gerichtsbeamten mussten wir aber auf das Schlimmste gefasst sein. Alles war abgesperrt, jeder Zutritt zum Hause untersagt. Nach einstündigem Zusammensitzen und Gehen erledigte ich die notwendigsten Depeschen, darunter auch die durch den Schweizer Gesandten an Euer Exzellenz gerichtete: „Irma 26. tödlich verunglückt. Eindbrecher. Untröstlich. Morst gesund bei Frau Kopp. Siegfried.“ Von unsern anwesenden Lagerdolmetscher erfuhr ich dann auch allmählich die furchtbare Gewissheit

犯人の性格

イルマ殺害犯人のトートエンマスケと其性格學的觀察	
(九州帝國大學醫學部精神科教室、主任下田教授)	
福岡刑務所 保健學博士 左座金藏	
目次	
一、序言	一〇、ザルデルン夫妻の平生
二、犯人田中徳一の死像	一一、遺兒ホルスト
三、徳一生前の體構	一二、警官隊大活動
四、徳一の犯罪事實	一三、犯人は夫ザルデルン乎
五、被害者イルマの假寓	一四、眞犯人田中徳一の描繪
六、イルマの惨死迄	一五、徳一の公判
七、イルマ惨死の日	一六、徳一社會生活のプロファイル
八、イルマの死體と格闘の跡	一七、徳一の獄中生活
九、夫ザルデルン大尉自殺	一八、徳一の全人格
	一九、徳一の性格學的所見
	二〇、結語

- ◆ K. Saza: Die Totenmaske von Irma-Mörder und seine chrakterologische Betrachtung. Aus der Psychiatrischen Klinik der Kaiserlichen Kyushu Universität zu Fukuoka, Japan. Direktor: Prof. Dr. M. Shimoda.
- ◆ 昭和7年6月1日発行

久しぶりの遠足

- ◆「福岡俘虜の香椎行 久方の外出で大ニコニコ」(大正6年4月19日)
- ◆「俘虜の皿山行 お土産に高取焼を購ふ」(大正6年5月5日)

俘虜所閉鎖へ

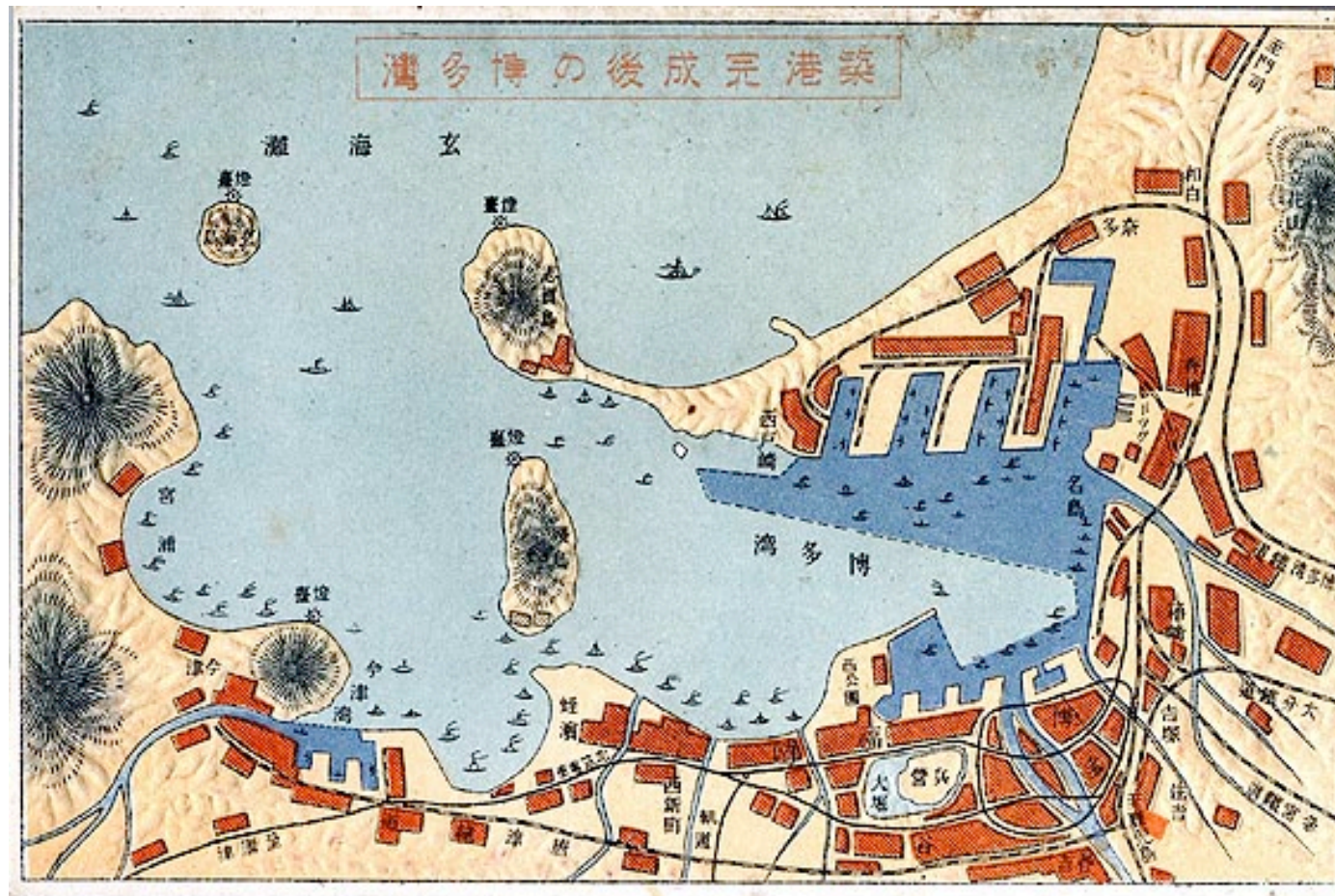
- ◆「福岡の俘虜は引越すか 共進会側は閉鎖出願 江川収容所長は語る」
(大正6年12月12日)
- ◆「福岡俘虜は移転せぬ 共進会は市の何処かへ収容 目下其候補家屋
物色中」(大正6年12月16日)

収容所の閉鎖



「俘虜福岡を去る
ワ総督以下将卒七
十五名
作日軍用列車で習
志野へ
如何なる誓約をな
すとも来るしからず
是非福岡に置かれ
たしと嘆願す」
(大正7年3月23
日)

福岡の近代化



築港完成後の博多湾（絵葉書、大正7年）

九州沖縄物産共進会福岡県協賛会・大正7年



- ◆ 7年4月10日「共進会開く 今十日開会式挙行」
- ◆ 月11日7年4日 「共進会開会式 雨天の為会場を演舞館に変更 来賓参列者無慮千名」